

平成 27 年度 大阪アクティブシニア協会 理事長コメント集

5月

- ◆大阪アクティブシニア協会(略称 OASA)第5回通常総会が5月 28 日開催された。任期満了に伴い永田理事長が退任、佐藤新理事長が承認された。18 団体の正会員、24 名の役員が選出されてアクティブシニアがあふれる大阪事業を中心に活動に入る。

6月

- ◆大阪アクティブシニア協会平成 27 年度第 1 回目の 3 役会ならびにアクティブシニアフェスタ 2015 実行委員会を開催した。平成 28 年 3 月に開催を決定。できるだけ多くの市民の方々に来ていただけるイベントを企画したい。アクティブシニアがあふれる大阪事業の大阪府からの委託が決定。「高齢者の生活課題」をテーマに地域での活動を展開していきたい。

7月

- ◆OASA(大阪アクティブシニア協会)支援 第 2 回理事会を開催。新たに 2 団体の加盟が内定し 20 団体となる。
大阪府より委託事業[アクティブシニアがあふれる大阪事業]が決定した。また、新生 大阪アクティブシニア協会の活動方針が採択され、積極的な活動を推進する。

8月

- ◆OASA(大阪アクティブシニア協会) 5 年先を見据えた戦略、高大の支援なければ成り立たない OASA になぜ参加しなければならないのか。の悩みを持つ。されど、大阪 165 万人のアクティブシニアの活性化に向けた事業展開の必要性は理解できる。理事長方針のもとで議論を深めていくことを 3 役会で合意した。

9月

- ◆OASA(大阪アクティブシニア協会)理事会 5 年先を見据えた戦略について討議を行った。
大阪府高齢者大学校との連携を深め、社会の変化に対応して、新しいアクションを興し、多くの市民組織や行政組織とタイアップして、新しい市民の協働事業を興していきます。そして、次世代シニア層への継承をはかり社会貢献の生き活きとした姿を見ることが。
「大阪シニアルネッサンス運動の展開」を目指したい。

10月

- ◆OASA(大阪アクティブシニア協会) 3 役会を開催。アクティブシニアがあふれる大阪事業の骨格が固まった。大阪府下 6 ブロックに分けて入門講座と実践講座を開催する。アクティブシニアフェスタ 2015 の開催を 2016 年 3 月 2 日に決定。ピカッと光るものを企画したい。
大阪出前サポート事業は、いきいき教室と企業から委託による有償ボランティアが充実してきている。

11月

- ◆石田梅岩について理事会で紹介。正直・ 儉約・ 勤勉、「三徳」の実践！
石門心学とは・・・丹波の国（現在の京都府亀岡市）の農家の次男として生まれ京の商家で奉公した、石田梅岩が八代将軍吉宗の治世の 1729 年（享保 4 年）京・車屋町御池上がる東側の町家で「講席」を開いたことに始まる、あるべき人の道を説いた「教学」である。その説く所は・・・宇宙の根源たる「道（理）」は万人に均しく天与されており、その天与されたものを「性」と言い、「性」は心の根本で「性」に従い活動して止まぬ、素直な心「本心」に従うのが商人の道、人の道である。それを知るには「心」を尽くして「性」を知らねばならない。大阪の町づくりは、この精神（文化）が息づいていると言える。

12月

- ◆アクティブシニアがあふれる大阪事業は、1 2 月 1 0 日最終 6 地区の実施計画が確定した。豊能地区、三島地区、北河内地区、中河内地区、南河内地区、泉州地区で、1 月～3 月の 期間に実施する。
- ◆全労済の手づくりおもちゃ教室を北千里ディオスで開催した。1 2 月 13 日スタッフ 30 名、9 種類のおもちゃ教室を提供した。380 名の子供たちの参加で過去最大のイベントとなった。
地元の 6 小学校ならびに自治会の皆さんに 3000 枚のチラシを配布したことがよかった。